

令和8年度 小千谷市立南中学校 2学期の様子 9/7～9/11

9月7日（月） 「非核平和推進研修体験記」

夏休みの8月4日～6日、小千谷市が行っている非核平和推進研修会に、市を代表して市内中学校から12名の生徒が参加しました。当校からは、3年生2名が参加し、広島平和式典に参加するなどし、貴重な体験から多くのことを学んできました。生徒の体験記を紹介します。（なお、この体験記は「市報おぢや10月号・11月号」に掲載されます。）

広島で学んだ平和の大切さ

小千谷市立南中学校 3年 女子代表生徒

私の研修テーマは、広島で見たことや聞いたことから「平和について考える」でした。実際に現地を訪れ、戦争や原爆について学んできました。戦争についての資料を見たり、当時の戦争の様子について聞いたりする中で、戦争によって多くの方々の普通の生活や大切なものが失われたということを改めて感じました。戦争について、学校の授業で学んではいましたが、実際に広島を訪れてみると、より身近に、自分のこととして考えることができるようになりました。

また、平和は当たり前にあるものではなく、一人一人が大切にしていくなのだと思いました。今回の研修を通して、私たち一人一人が過去の出来事を忘れず、平和について考え続けることこそが平和を守る上でとても大切だと学びました。私は、学んだことをたくさんの人に伝えていきたいです。そして、身近な人とのつながりや相手を思いやる持ちを大切にしていきたいと思っています。

平和までの過程

小千谷市立南中学校 3年 男子代表生徒

研修前、私は広島を「原爆を受けるも発展を続けた都市」くらいにしか捉えていませんでした。そこで、「その復興の過程を知ること」をテーマに研修に参加しました。広島平和記念資料館では原爆の悲惨さと被害の規模の大きさに圧倒されました。街を散策し、現在の広島の発展した様子を目にして驚きました。特に私の心を動かしたのは、人々の原爆に対する意識です。誰もが過去を軽視せず、伝承活動や対話を通じて世界に核の非人道性を訴えていました。悲惨な歴史を忘れず後世に伝えようとする強い意志があったからこそ、現在の発展があるのだと感じました。

研修を終えて、私にできる平和に向けた行動を起こしたい、起こさなくてはと考えました。例えば、友人に研修の内容を伝える、日常生活で相手の気持ちを考えて行動する等です。研修を単なる思い出にせず、この学びを忘れずに日々の生活に生かしていきたいと思っています。

写真は、8月4日 JR 小千谷駅での出発式の様子です。



9月9日（水）・10日（木） 「第2回定期テスト」

……………「1学年だより」より……………

9日、10日に第2回定期テストを実施しました。テストの前には、朝の読書の時間に質問教室があり、真剣に学習に取り組んだり、分からないところを先生に聞き、理解しようとしたりする姿が見られました。テストでは、勉強したことを精一杯出し切ろうと、時間いっぱい臨む姿が見られました。結果が楽しみです。

テストが返却されたら、「それで終わり」ではなく、どこが間違っているのかを確認したり、正答を覚え直したり、やるべきことはあります。何をすべきかしっかりと考えきちんとやっておき、次回のテストにつなげていきましょう。また、提出物も期日を守って出し、漏れ落ちがないように、すべて取り組んでいるかを確認してから出すようにしましょう。

これからも、日々の授業に意欲的に取り組み、その日の学習をその日のうちに復習する癖をつけられると、より発展的な学習につなげられます。まずは、毎日の家庭学習を充実させることを期待しています。

……………「3学年だより」より 抜粋……………

定期テストが終わったばかりですが、第2回実力テストが13日後に迫っています。学級みんな、本気で取り組んでいきましょう。今こそこれまで培ってきた集中力を発揮する場面です。南中職員は皆3年生からの受験勉強を進める中での質問を受け付ける気満々です。先生方をぜひ、ご利用ください。そのためには、まずは自分で「どの問題の、どこまで分かるのか、どこが分からないのか」を発見しなくてはけません。発見するには、とにかく勉強してみる、問題に当たってみることです。そして、**遠慮せずに勉強できる環境づくり、ルーティンづくり**をしませんか。当たり前前に勉強し、互いに教え合える3Aにしていましょう。



写真は、テスト直前の様子です。生徒の状況に合わせ、教室以外にも、各自が安心する場所を選び、落ち着いてテストを受けることができます。

9月11日（金） 「体育祭 小道具係」



小道具係の活動も7月から始まっていました。青軍、紅軍、それぞれのパネルのイメージに合わせて、小道具での演出を考えます。使用する材料は、予算内の金額に収めなければいけないので、低コストで、いかに見栄えのするものを作成できるか、アイデア勝負です。各軍の応援団長の思いも聞きながら、何度も試案していました。何を作るか決まったら、後は、地道な作業が続きます。小道具を手にした時の軍団員の笑顔のために、頑張っています。

9月11日（金） 「体育祭 応援係」



もちろん、応援係の活動も7月から始まっていました。各軍団の色が決まると、その色に合った軍団名を決めます。軍団名には各軍団の思いや願いがあり、それを団員に伝え、目指す方向をみんなで確認します。応援歌を作り、振り付けを考え、団員に教えます。応援合戦が盛り上がるよう、応援合戦のプログラムを組みます。そして何よりも、団長を助け、団員が一致団結できるようにまとめるのが応援団の一番の腕の見せどころです。

9月11日（金） 「主任児童委員・民生児童委員の皆様との懇談会」



小千谷市第4地区の主任児童委員・民生児童委員の皆様との懇談会が行われました。今回は、8名の委員の皆様方に学校に来ていただき、南小学校・南中学校の授業の様子を参観いただいたり、学校施設を見ていただいたりしました。

懇談では、南小・南中の校長が学校の状況について説明し、民生児童委員の皆様からは授業参観の感想をお話いただきました。「先生方が、一人一人をよく見ている。」「子ども達も先生の問いかけに応えようと一生懸命であった。」「子ども達が、子どもらしく、伸び伸びと活動している。」「先生方と子ども達との関係性が良いことが分かる。」「タブレットや電子教科書など、学習の様子が変わっていてびっくりした。」など。学校を知っていただくには、実際の様子を見ていただくのが、一番いいです。保護者・地域の皆様、どうぞ、ご来校ください。そして、今後とも子ども達のために、皆様のお力をお貸しください。